



「あらゆるものが美しくあれと願って、
それをつかみ出すことに専念してきた。」——秋山庄太郎



上：ジブシー・ローズ

左：寄立 薫（「東京エキゾチズム」） 右：原 節子（「湖畔秋色」）

撮影＝秋山庄太郎 ©秋山庄太郎写真芸術館
（秋山庄太郎写真芸術館蔵）

生誕100年 「美」の追憶

秋山庄太郎写真展

協力：秋山庄太郎写真芸術館 秋山庄太郎写真芸術協会
イマジン・アートプランニング

Shōtarō Akiyama

令和3年

2/27 土 ▶ 3/28 日

休館日／3月1日、8日、15日、22日

開館時間／午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入館料／大人 500円（450円）高・大学生 300円（270円）

（ ）内は20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料

※障がい者手帳等をお持ちの方、付き添いの方1名は半額



那珂川町馬頭広重美術館

〒324-0613 栃木県那須郡那珂川町馬頭116番地9

TEL.0287-92-1199 FAX.0287-92-7177 <http://www.hiroshige.bato.tochigi.jp/>

企画展 ● 生誕100年「美」の追憶 秋山庄太郎写真展

令和3年2月27日(土)～3月28日(日)

■休館日／3月1日、8日、15日、22日

■入館料／大人 500円(450円) 高・大学生 300円(270円) ()内は20名以上の団体料金

※中学生以下は無料 ※障がい者手帳等をお持ちの方とその付き添いの方1名は半額

13歳の時に親友の兄から勧められたことに端を発し、82歳で突然他界するその刹那まで共にあり続けた「写真」。学生時代や出征前にとらえた「翳の美学」を物語る初期作品、「女性専科」の異名をとった女優の肖像写真、人生の「壁」に向き合って撮った海外作品、そして最晩年の「遊写三昧」の境地へと導かれるライフワーク「花」や「風景」などの諸作品。生誕100年の節目にあたり、秋山庄太郎の写真家人生の軌跡を撮影作品で辿ります。



『遊写三昧 花-365日』より 撮影：秋山庄太郎

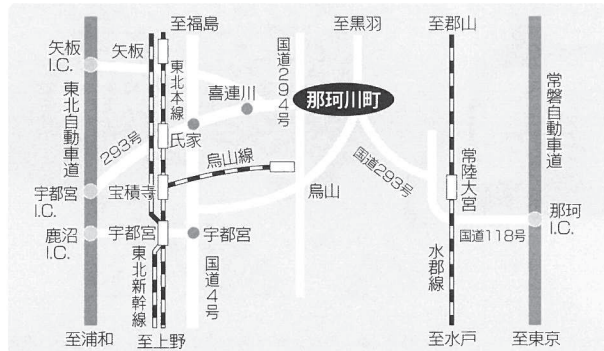
©秋山庄太郎写真美術館
(那珂川町馬頭広重美術館蔵)



秋山庄太郎(あきやま・しょうたろう)

1920年(大正9年)、東京・神田生まれ。早稲田大学卒業。戦後、映画雑誌社写真部勤務を経て、フリーランスの写真家となる。数多の女優ポートレートでその地位を揺るぎないものとする一方、写真芸術普及に取り組み、那珂川町をはじめ各地で講演や撮影指導に尽力、気さくな人柄は多くの人の心を捉えた。紫綬褒章、旭日小綬章受章。日本写真家協会名誉会員、二科会写真部創立会員、日本写真芸術専門学校校長など要職を歴任。2003年(平成15年)東京・銀座の写真賞選考会場で急逝。プロへの警鐘と写真愛好家への励ましとなった「アマチュア畏るべし」や「美しきをより美しく」などの撮影理念は広く共感を得た。栃木県、那珂川町にも会員を擁する秋山庄太郎写真芸術協会、自ら創始した全国公募「秋山庄太郎『花』写真コンテスト」は、その志の継承発展につとめている。

交通のご案内



公共交通機関をご利用の方は

- JR宇都宮線氏家駅から関東バス(旧東野バス)「馬頭車庫行き」で約60分「室町(旧馬頭役場前)」下車

お車をご利用の方は

- 東北自動車道宇都宮インターから国道293号で那珂川町へ
 - 東北自動車道矢板インターから国道4号→県道74号さくら市喜連川→国道293号で那珂川町へ
 - 常磐自動車道那珂インターから国道118号→国道293号で那珂川町へ
- レンタカーをご利用の方は
- 宇都宮駅・那須塩原駅から

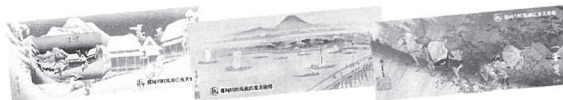
毎月第3日曜日は家庭の日

中学生以下のお子様をお連れのご家族は観覧料が無料になります。

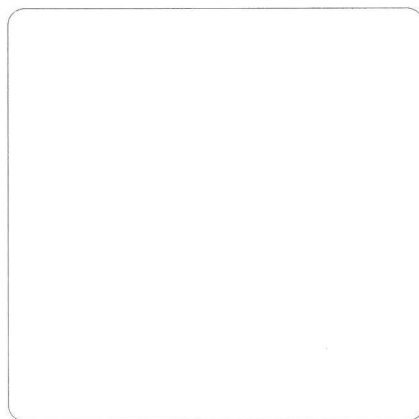
Museum Shop

●ミュージアムショップからのお知らせ

那珂川町馬頭広重美術館オリジナル筆箋
ご来館の記念にぜひお求め下さい。1冊 385円



STAMP



那珂川町馬頭広重美術館

〒324-0613 栃木県那須郡那珂川町馬頭116番地9 TEL.0287-92-1199 FAX.0287-92-7177

<http://www.hiroshige.bato.tochigi.jp/>

■開館時間＝午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日＝月曜日 祝日の翌日(祝日の翌日が土、日曜日は開館) 年末年始

※展示替えのための臨時休館があります

